



住宅省エネルギー基準が大きく変わりました !

2025 年から新築住宅のエネルギー基準が変わりますが、それに先立ち、昨年から断熱等性能等級 5, 6, 7 と一次エネルギー消費量等級 6 が新設されました。それに伴い、長期優良住宅の性能項目で、断熱等級は 5 に一次エネルギー消費等級は 6 に変更になりました。(R4. 10 月より新築住宅で施行) また、住宅の省エネルギー基準の地域区分も従来の 6 区分から 8 区分に変更され、より地域区分格差が小さくなりました。(鹿児島・宮崎県は区分 7)

断熱等級 4~7 の UA 値や η AC 値は下表の通りです (地域区分 7・鹿児島県の場合)

	等級 4	等級 5	等級 6	等級 7
UA (外皮平均熱貫流率)	0.87	0.6	0.46	0.26
η AC (平均日射熱取得率)	2.7	2.7	2.7	2.7

H11 年の次世代基準では「等級 4」、R4 年の ZEH 標準(長期優良住宅)が「等級 5」に相当

外皮平均熱貫流率とは $UA = \text{単位温度当たりの外皮総熱損失量} / \text{外皮総面積}$

平均日射熱取得率とは $\eta AC = \text{単位日射強度当たりの総日射熱取得量} / \text{外皮総面積}$

結露の発生を防止する対策 (防湿層設置、通気層設置、熱橋部の断熱補強、コンクリート部への断熱材密着等) は「等級 4」以上は行わなければならない

一次エネルギー消費量等級

	等級 3(既存)	等級 4	等級 5	等級 6
BEI(一次エネルギー消費性能)	1.1 以下	1.0 以下	0.9 以下	0.8 以下

一次エネルギー消費性能とは $BEI = \text{設計一次エネルギー消費量} / \text{基準一次エネルギー消費量}$
(基準一次エネルギー消費量とは事務機器や家電等のエネルギー消費量からその他の一次エネルギー消費量を引いた値)

なかなか理解しづらいですが、2050 年の脱炭素社会実現のための取り組みであり、欧米諸国の断熱基準に近づこうとする制度です。詳しくは専門の方にお問合せ下さい。

【情報】

早生樹の試験栽培が始まりました !

輸出とバイオマス発電が増えて未利用材が足りなくなり、製材用材まで持ち込まれています。早く大きくなる木が求められるようになり、「コウヨウザン」という早生樹が注目され、伊佐市で試験栽培が始まっています。20 年前後で、杉の 2.6~3.5 倍の成長量があり、腐りにくく白蟻や病虫害にも強く、ぼう芽再生が行われるそうです。樹種特性として安眠効果のある抽出成分も多く、曲げヤング率もヒノキより高い個体もあるようです。さらに研究を続け、建築用材 (構造材・内装材) としての可能性を検討するそうです。



恵林寺 (武田信玄の墓所) の庭

【定休日】

5 月は 3, 4, 5, 6, 7, 14, 21, 27, 28 日

6 月は 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25 日となります

宜しくお願いします